

堺・高石・和泉地区

堺市長選 小林ひろし氏を推薦

国保料軽減、医療助成拡充を評価

協会の堺・高石・和泉地区は8月25日、役員会を開き堺市長選挙(9月13日告示、27日投票)に対する取り組みを協議し、「住みよい堺市をつくる会」推薦で出馬した大阪府立大学名誉教授の小林ひろし候補(無所属=写真)の推薦を決定した。



同地区は、政令市になって初めて実施される市長選挙を要求実現の好機と捉えて、8月初旬から出馬表明している4人の候補にアンケートを実施した。内容は①国保料の引き下げと滞納増への対応②子どもの医療費助成と無保険問題③市立病院

院の救急機能強化と移転と歯科の位置づけ④LRT(路面電車)の堺東から堺浜間の敷設計画⑤地域産業の振興策―など5項目について質した。

回答はすべての候補から寄せられた(期限内の回答は小林、井関両候補)。

このうち、小林候補の回答が協会の基本政策にもっとも近いことから支持・推薦に至った。特に、国保料の問題では、政令市ワースト1の一般会計繰入額を政令市平均に改

め、1万円引き下げると明確に回答したことや、こどもの医療費助成の通院対象を小学校卒業まで引き上げること、成人歯科健診も10年ごとの節目から5年ごとの頻度を高めると回答したことが評価された。また、堺病院の救急機能と移転は、160億円もの残債の上に、新たに200億円を投じ

堺市長選候補者アンケート結果の概要

- 【小林ひろし候補】**
 - ・国保料の1万円の引き下げ
 - ・乳幼児医療費助成年齢を中学入学前に拡充(現在は就学前)
 - ・堺市民病院の新病院移転計画については、現在地での救命救急センターの併設が無理なのか十分な検討を行う。無理な場合でも、移転や医療内容について市民や患者への十分な説明と納得が必要
 - ・一般開業医と連携を深めた上での急病歯科診療体制の充実をすすめる
 - ・堺市成人歯科健診(節目)を5年ごとの無料健診にする(現在は10歳ごと、500円)
 - ・LRT(堺東から堺浜間)計画の白紙撤回
 - ・小企業地域経済振興条例や市独自の緊急融資制度を整備し中小企業を支援
- 【井関貴史候補】**
 - ・国保料はすべての可能性を含めて検討したい
 - ・学童期の児童に基礎的医療を保障する
 - ・社会保障制度の窓口業務基準の簡素化・徹底化を図り、「泣き寝入り」「ごね得」を許さない
 - ・堺市民病院は現在地のまま、近大付属病院などと協力・連携によって救命救急医療体制を構築
 - ・LRTの堺駅～堺浜は中止し、堺駅～堺東に建設する(将来は三原地区まで延伸)
 - ・基幹産業として航空宇宙産業を育成
- 【竹山おさみ候補】**
 - ・国保料で子育て世帯への負担軽減に向けて公費負担を拡充(現在は就学前)
 - ・乳幼児医療費助成年齢を入・通院とも中学3年生まで拡充(現在は就学前)
 - ・妊婦健診公費負担を大幅拡大
 - ・こどもの無保険は負担の公平性の問題もあるが、子どもを被害者にならないように体制を強化
 - ・市民病院移転構想については広く市民に公開し議論を行うが、推進に努めたい
 - ・採算性の得られないLRT事業は実施しない
 - ・ベイエリアの先端産業で、ものづくり企業の活性化につなげ、雇用を確保する
- 【本原敬介候補】**
 - ・レセプト点検による医療費の適正化や保険料の滞納解消に努め、可能な限り負担軽減
 - ・「子ども元気日本」のまち堺の実現をめざし、医療費助成の拡充を検討
 - ・堺市独自のセーフティネットの構築が必要
 - ・現在地での病院機能を継続しながらの整備は不可能。他に移転し、三次二次救急が一体となる効率的な診療体制を構築し、救急医療の核となる基幹病院の整備を行う

政令市の子ども医療助成制度一覧 (2009年7月1日現在)

政令市名	(通院)	(入院)
札幌市	就学前	小学6年
仙台市	就学前	就学前
新潟市	小学3年	小学卒業
千代田市	就学前	就学前
さいたま市①	就学前	中学卒業
横浜市	就学前	中学卒業
川崎市	就学前	中学卒業
静岡市	就学前	中学卒業
浜松市	就学前	中学卒業
名古屋市	小学6年	中学卒業
京都市	就学前	小学6年
大阪市	就学前	小学卒業
神戸市	小学3年	小学卒業
広島市②	就学前	就学前
岡山市	就学前	就学前
北九州市	就学前	就学前
福岡市	就学前	就学前
堺市	就学前	就学前

注①10月1日から通院が中学卒業
注②10月1日から発達障害の子どもの入院が小学2年

ることになり、住民合意は得られないとして、現地で立て替えても視野に再検討し、歯科は高次機能のみに特化するのではなく、開業医と連携できる急病歯科診療体制をめぐ

路面電車計画を撤回

この他、同候補は、総工費425億円もかかるLRT(路面電車)を都心から臨海まで敷設する計画は白紙撤回。10年間で504億円にも及ぶシヤープへの行き過ぎた減税や、臨海部だけの巨

共済加入者ら272人が交流

歯科・医科共催10年目(大阪市港区)で開かれ、を迎えた恒例の「共済加入者のつどい」が5日、ホテル大阪ベイタワー開会あいさつで伊津進弘理事長は、「制度発足後31年となる保険医年金は、他の年金制度と比べて運用率が高く、自在性と安定性を持った協会・保団連独自のものをこの制度を皆さんの手でさらに育てほしい」と呼びかけた。下井戸昭介副理事長は、春の年金普及結果や歯科会員の制度加入状況などを報告。休業保障については、新国会に保険業法の適用除外を求める運動を一層強めたいと述べ、署名への協力を訴えた。記念行事は、華乃家ケイ氏率いる大阪楽団が、大阪フキウギや浦田行進曲などの懐メロで参加者を楽しませた。夫婦・家族同伴の参加者も多く、食事と抽選会で和やかな一時を過ごした。

秋の講演会抄録

憲法9条と25条をセットで守ろう

～みんなで暮らしを守るために～

泉 孝英氏(医師、京都大学名誉教授)

おおさか医科・歯科九条の会は10月11日、「ガイドライン外来診療」の編集主幹で、「九条の会・医療者の会(全国)」呼びかけ人の泉孝英氏(京都大学名誉教授・東京健康健康管理研究会理事長)を招いて講演会を開く。憲法9条と25条を軸としていかに平和を守り、いかに暮らしを守っていくのかについてお話をいただく。



も、どちらも出ているは国民の懐(税金・保険料)です。どこからかくれるわけではありませ

私の主張です。

しかし、同時に我々が考えねばならないことがあります。限られた社会保障費をいかに有効に使うかという問題です。現在の年金、介護、医療、生活保護の制度に問題がないかどうかの総点検です。本講演では、社会保障をめぐるわが国の問題点、年金一元化、不足している介護施設、医療崩壊を招いている医療制度、高齢化時代を迎える生活保護制度などについて私なりの問題提起を行い、参加者の方から討論をいただく「学習会」にできればと思います。

憲法25条(社会保障)の精神を生かすためには、9条(戦争放棄)を守り、防衛費をできるだけ少なくして、社会保障費を確保しようというのが私の主張です。

そして最後に、わが国における社会保障費の財源の在り方、保険料が主で、公費(税金)は従の現在の姿勢で良いのかについても述べることをさせていただきます。

【日時】10月11日(日) 午後2時～4時
【会場】マイドームおおさか8階・第3会議室(協同組合まつり会場、地下鉄中央線および堺筋線「堺筋本町」駅の1、2番出口から徒歩7分)
【定員】90人
【申込】協会事務局まで



懐メロで会場を盛り上げた大阪楽団 = 5日、大阪市港区

制度を皆さんの手でさらに育てほしい」と呼びかけた。下井戸昭介副理事長は、春の年金普及結果や歯科会員の制度加入状況などを報告。休業保障については、新国会に保険業法の適用除外を求める運動を一層強めたいと述べ、署名への協力を訴えた。記念行事は、華乃家ケイ氏率いる大阪楽団が、大阪フキウギや浦田行進曲などの懐メロで参加者を楽しませた。夫婦・家族同伴の参加者も多く、食事と抽選会で和やかな一時を過ごした。

求人

ハーモニックにおまかせ下さい

歯科医師 衛生士 助手 技工士

優秀な人材をご紹介します

常勤、アルバイト、パートに関わらず人材採用のお手伝いをさせていただきます。弊社にて事前に面接済の求職者の中からご希望の条件と合う方を探し、ご紹介致します。

ホームページ <http://harmonic-net.co.jp>

24時間受付

お気軽にお電話下さい

株式会社 **ハーモニック**
(和田精密グループ)

フリーコール イーレシと
TEL 0800-1114510
FAX 06-6393-3232
e-mail: info@harmonic-net.co.jp

担当: 下田
532-0002 大阪府淀川区東三国1丁目12-15 辻本ビル7F
有料職業紹介業 27-ユ-300406
一般労働者派遣業 般27-060054